

●機能性消化管障害 過敏性大腸症候群

機能性消化管障害とは、症状の原因となる器質的な病変がないものの、消化管に由来する腹痛を中心とした腹部症状が持続し、消化管の機能が損なわれている疾患の総称です。

なかでもよく知られているのが大腸病変の過敏性大腸症候群 (irritable bowel syndrome :IBS) です。

主な症状は腹部不快感、腹痛とそれに関連した便通異常（便秘・下痢）です。便の性状により下痢型、便秘型、混合型、分類不能型の4つに分類されます。

生命には影響のない良性疾患ですが、生活の質 (Quality Of Life : QOL) に影響するため、適切な治療が必要となります。治療は生活習慣の改善、食生活の改善、薬物療法を主に行います。